

# やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2026 **7**  
令和8年7月29日発行  
**No.133**

やまのべ議会だより

2026年7月号 VOL.133

オーエス！  
オーエス！



定例会 もっと安全・安心な暮らしのために! …… 2～4

どうなったべ?あの質問/県への重要施策要望 …… 5

一般質問 町政のここはどうする? …… 6～9

議会活動報告 新しいまちへの挑戦 …… 10～11

写真/相模小こいのぼり大運動会  
(関連記事 12ページ)

発行/山形県山辺町議会  
編集/広報常任委員会

Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地  
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会  
ホームページは  
こちら



●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/株式会社アプラス

いつでもニット

ファッションの町  
やまのべ

## サマーニット発祥の地

関連記事はP4へ

夏こそクールに着用 ニットが編み出す 心地よさと柔らかさ、着てみて実感!

サマーニット議会の開催を提案された山辺ニット同業会3社からのメッセージ

袖を通す人が笑顔になる丁寧なニット作りを日々追求しています。  
一着を丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント技術により、極上の着心地感を生み出しました。  
編み物ならではの柔らかさを生かし、これからも妥協のないものづくりを続けてまいります。



株式会社タンドル 代表取締役  
はたやま とおる 畠山 徹氏

戦後から日本有数のニット産地としてモノづくりを続けてきた山辺町で育った私にとっては、数あるファッションアイテムの中で「ニット」は最も身近であり特別な存在です。米富繊維に帰ってきて、自らニットデザインをする中で、改めてそのモノづくりの難しさと完成した時の達成感を感じる毎日です。今後は、日本で初めてサマーニットを作製した「ニットのまち・山辺」を全国に発信し、観光も含めて県内外から多くのお客様に山辺町に来ていただきたいと思います。



米富繊維株式会社 代表取締役社長  
おおい けん 大江 健氏

秋冬物以外のニットの需要が少なく、何かPRできないかと、今回3社で協力して「サマーニット議会」の開催を町と議会にお願いしました。ニット業界も昔はそれぞれが競い合うライバルでしたが、今はお互いに情報交換や、空いている編み機を融通しあうなど横の繋がりをもち協力しています。今後もそれぞれの特色を生かし相乗効果が盛り上げていきます。



鈴治株式会社 代表取締役  
すずき けんいち 鈴木 健一氏

### 表紙の説明



相模小学校こいのぼり大運動会が5月27日『全力協力団結力』をスローガンに、赤白の組に分かれて行われました。当日は天候もよく、運動会には最高のコンディションでした。  
応援合戦から始まり、各学年の徒競走や低・中・高学年それぞれの団体種目、全学年での綱引きなど、まさにスローガン通りの団結力で各競技に全力で臨んでいました。各組の陣地では学年関係なくみんなで協力し、一生懸命応援する姿がありました。  
すがすがしい澄みきった青空のもと、子どもたちの笑顔はまぶしく光っていました。グラウンド上空にはたくさんこのこいのぼりが泳ぎ、子どもたちの頑張りを優しく見守っているようでした。

### 編集後記

初夏に町内の畑近くを散歩していると、目に飛び込んできたのは真っ赤に実ったサクランボ。その甘酸っぱさが幸せな気分へと導いてくれるルビー色に輝く一粒一粒は、私たちをわくわくさせます。

山辺町はサマーニット発祥の地です。この度の6月定例会は、初の「サマーニット議会」と銘打って、議員も執行部も全員が山辺産の夏向けのニットを着用し議会へと臨みました。着心地も涼しさも抜群です。町の誇りを身に着けて、新鮮な気持ちで議論を重ね、町政をより良い方向へと進めることができました。  
まだまだ暑い日は続きますが、サクランボやサマーニットの包まれて一緒に乗り切っていきましょう! 私たち議員はこれからも全力で山辺町を支えて行きます!!

竹俣 朋 記

■発行責任者 武田 啓一郎  
■広報常任委員会 竹俣 朋  
委員長 遠藤 幸一  
委員 佐藤 真由美  
委員 渡辺 裕二  
委員 日野 利春

議会だよりがカラー写真で閲覧できます。





# 未来につなげ!! もっと安全・安心な暮らしのために!

## 定例会のあらまし

第2回定例会が6月10日から12日の3日間の会期で開催され、7人の議員が一般質問を行いました。本定例会では、専決処分として、条例の一部改正と令和7年度山辺町一般会計補正予算(第8号)が承認されました。また、副町長の再任同意と各条例の一部改正・廃止、令和8年度山辺町一般会計補正予算(第1号)、事業契約の締結2件、工事契約の締結2件が審議され、原案通り可決されました。さらに、繰越明許費繰越計算書についての報告のほか、山形広域環境事務組合議会議員の選挙と、議員派遣の発議があり、いずれも可決されました。

## 専決処分の承認

### 令和7年度山辺町一般会計補正予算(第8号)

各種交付金などの確定により増額減額の調整を行いました。

7726万円を追加し、総額83億1466万円に

#### 〈主な補正内容〉

- ・学校施設整備基金積立てに5000万円の増
- ・ふるさと応援事業に2760万円の増



あなたの思いをふるさとに

## 議案審議

### 条例の一部改正と廃止

◇山辺町森林等の火入れに関する条例の一部を改正

国の通知に基づき、林野火災注意報や警報が発令された際の対応を明記する改正です。

◇山辺町新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金条例を廃止

国の通知に基づき、山辺町新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金条例を廃止するものです。

◇山辺町地区計画等の案の作成手続きに関する条例の一部を改正

住民提案の土地利用促進を図るこ

とができる制度導入のための改正です。

## 物品購入契約の締結

◇小型動力ポンプ付積載車購入

契約の相手

株式会社長谷川ポンプ製作所

契約金額

1551万円

◇除雪機械(8t級除雪ドーザー)購入

契約の相手

コマツ山形株式会社山形支店

契約金額

1958万円

## 工事請負契約の締結

◇山辺中学校体育館空調効率化及び空調設備設置工事

熱中症対策のため輻射式空調の導入を行います。

契約の相手

山建設備株式会社

契約金額

9900万円

◇町民総合体育館屋外プール施設改築工事

老朽化が進んでいる屋外プールと、プールハウス、ウォータースライ

## 人事案件

◇山辺町副町長選任  
任期満了に伴う再任に同意しました。

佐藤 正彰氏

◇山形広域環境事務組合議会議員選挙

任期満了により、議長の名指推薦により当選しました。

樋口 和男 議員  
渡邊 裕二 議員

## 議員発議

◇議員の派遣

議員の見識を広め、議会の活性化と円滑な議会の運営のために、各種会議や研修会に議員を派遣します。

◇議員派遣報告

「全国町村議長会主催の議長・副議長研修会」に副議長を派遣しました。

## 繰越明許費繰越計算書の報告

令和7年度内で終了できない事業を、令和8年度も引き続き実施するものです。

(合計2億1268万円を次年度へ繰越)

#### 〈主な事業〉

- ・物価高騰対策商品券配布事業
- ・物価高対応子育て応援手当支給事業
- ・土地改良施設維持管理事業
- ・防災備蓄品等整備事業





# どう なったべ あのかいもん



議員が定例会で行った  
一般質問が、どうまち  
づくりに反映されたか、  
これまでの質問の一部  
を取り上げました。



災害に強いまちづくりのために



※質問内容については、  
「やまのべ議会だより」  
(令和6年7月29日発行No.125)  
5ページをご覧ください。

## 結果

防災士の有志による組織設立に向けた打ち  
合わせを経て、令和7年9月4日、『山辺町防  
災士連絡会』が設立されました。町防災訓練へ  
の参加や、例会などが開催されています。また、  
会員の中で福祉関係の仕事に従事されている  
方はたらきかけもあり、『山辺町福祉事業所  
等災害時施設相互応援協定』が結ばれ、令和8  
年5月1日に、4事業所による調印式が行われ  
ています。  
防災士の意識高揚と情報共有などにより、今  
後ますます安全・安心なまちづくりと、地域住  
民の防災・減災に対する意識の向上につながっ  
ていくことを望みます。

## A

防災に関する情報を交換する機会を設け、  
活動状況や課題を集約し、各防災士間のネッ  
トワーク構築を図っていく。

## Q 防災士の働きで災害時に柔軟 に対応できる体制づくりを

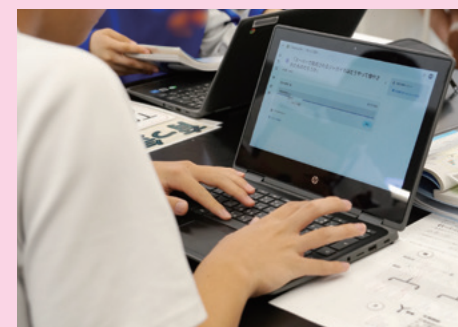
令和6年6月5日 第2回定例会

## 令和8年度山辺町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ 2588 万円を追加し総額 73 億 2303 万円に

### 主な補正内容

- 担い手育成支援事業(地域農業構造転換支援事業)に…………… 1178万円の増
- ドローンを活用した有害鳥獣追い払い対策に…………… 154万円の増
- 町立学校タブレット端末購入に  
…………… 1023万円の増
- 体育施設指定管理委託料  
(中学校プール授業監視員)に  
…………… 261万円の増



タブレット端末の更新でICT環境のさらなる  
充実を

### 請願第2号

|         |                                                                                                                          |     |     |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 請 願 名   | 食糧法改定案における食料供給への国の責任明確化と修正を求める請願                                                                                         |     |     |
| 請 願 者   | 山辺町革新懇話会 峯田 博                                                                                                            |     |     |
| 趣 旨     | 政府および国会に対し、次の事項について必要な修正・対応を求める意見書の提出を求<br>めるもの。<br>・食料自給率向上に対する国の責任を明確にすること<br>・政府備蓄米制度を維持・充実すること                       |     |     |
| 紹 介 議 員 | 日野 一春                                                                                                                    | 結 果 | 不採択 |
| 理 由     | 食糧法改正案に示されている食料安全保障の確保に向けた国の基本的責務については、法<br>文上明確に規定されているほか、不測の事態への対処についても盛り込まれているとの認<br>識であり、国の責任において食料供給を確保する姿勢は示されている。 |     |     |

### 第2回定例会

## サマーニット議会開催

山辺ニット同業会より「サマーニット議会」開催の要望をうけ、議会としても、町特産品サマーニットのブラ  
ンド力強化につながる新たなプロモーション施策として、議員と町幹部職員がサマーニートを着用し、町をPR  
しました。



### サマーニットの紹介

山辺町は、サマーニット発祥の地  
として知られています。山辺町の米  
富繊維の創業者である大江良一氏が  
開発し、1961年に全国のアパレル  
メーカーに展示会を開催して発信さ  
れました。サマーニットは、春夏向  
けに編まれた薄手で通気性・吸湿性  
に優れたニット素材の衣類です。厚  
手の秋冬用ウールニットとは異なり、  
軽やかで涼しい着心地が特徴です。



### 山形県へ重要施策を要望

令和9年度町重要施策について、武田議長が安達町長・鈴木県議  
会議員と共に6月15日、県知事および村山総合支庁長に、要望活動  
を行いました。要望12項目のうち、主な項目は次のとおりです。

1. 国道458号バイパス（都  
山辺中山線）道路整備事業の推  
進について

国道458号のバイパス化によ  
る道路整備事業は中山町の県野球  
場交差点から金沢工区として計画  
的に事業が実施されているが、こ  
の事業は金沢工区から優先的に進  
められるとのことであるため、毎  
年予算計上を図られ目に見える事  
業推進を強く要望する。

また、緑ヶ丘地内から大塚地内  
までのバイパス化の事業化を図ら  
れるよう要望する。

2. 主要地方道山形山辺線（下原  
地内）道路整備の事業化について

主要地方道山形山辺線の下原地  
内及び滝平地内においては、狭隘  
なために山間地域住民等の往来や  
通勤時にはすれ違いに困難を要し  
ていたが、令和2年度から令和5  
年度の滝平地内の拡幅工事により  
狭隘区間が一部改善されたことに  
感謝する。



今年度はサマーニートを着用しての要望活動

しかし、下原地内はバス路線と  
もなっており、令和2年7月豪雨  
で主要地方道山形朝日線が通行止  
めとなった際には、迂回路として  
大型トラックや通勤車両が多数通  
行した。また、令和6年度には本  
路線が第2次山形県自転車活用推  
進計画の地域ルートとして追加さ  
れ、自転車利用者の増大が考えら  
れるので、安全で快適に通行でき  
る環境の整備に向け下原地内の早  
期事業化を強く要望する。





## 一般質問

# 町政のここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

6月の定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。

えんどう まゆみ  
遠藤真由美

### 学童保育現状

学童保育の現状と課題は

むらやま こういち  
村山 幸一

### 教育振興

ウェルビーイングを目指して「町教育振興計画」の策定を

なべくら たけし  
鍋倉 竹志

### 孤独孤立対策

高齢者独居世帯における孤独・孤立対策について

さとう としかず  
佐藤 利和

### 経済活性化

電子地域通貨(電子マネー)による交流人口の増大を

じん ぼ  
神保 みのる

### 健康増進

持続可能な健康社会への取組みは

すすき せいや  
鈴木 誠也

### 安全管理

スポ少、中学校の部活動などの移動をめぐる安全管理体制について

ひの かずはる  
白野 一春

### 個人情報保護

町は、防衛省から要求されて、自衛官入隊適齢者の町民個人情報を提供しているのか

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



## 定例会のお知らせ

今回の定例会は9月です。  
傍聴については、町ホームページをご覧ください。  
電話 023-667-1117 (議会事務局)

## 教育振興

### 「町教育振興計画」の策定を



村山 幸一 (町長) 「基本計画」の策定に向けて取り組んでいく

**質問** 令和9年度に策定される第6次山辺町総合計画に合わせ、「町教育振興計画」を策定すべきでは。

**答弁** 教育振興基本計画は、町の教育施策を総合的かつ計画的に推進する上で極めて重要な指針となるものとして、策定に向け取り組んでいく。

**質問** 国や県の「教育振興計画」を受けて、教育現場ではどう生かしているか。

**答弁** 町は、国や県が目指すウェルビーイングの概念を生かし、今年度は「多様な幸福を見出し(いのち)輝く山辺のこども」を学校教育目標に掲げてい

ち表現するプロセスの重要性を指導助言している。そこから、未来志向で現状打破に挑む「自走する学び手」を育成し、揺るぎない郷土愛と主体的に参画する力を育んでいく。

**質問** ICT設備を活用する教員の実情を踏まえ、教育DXをどう推進していくか。

**答弁** ICTを「使うこと」が目的でなく、「問題解決や価値創造」の手段として効果的に活用できるよう研修の充実を図り、教育DXを推進していく。



教育のさらなる充実を地域も支援  
(相模小学校教育後援会)

## 学童保育現状

### 「子どもと育つ町」学童保育の現状と課題は



遠藤真由美 (町長) 需要動向を見ながら受け入れ態勢を検討していく

**質問** 全国的に放課後児童クラブ(学童保育)の数が登録児童数は年々増加傾向にある。当町の学童保育の受け入れ状況はどうか。

**答弁** 町内2か所の民間団体に委託しており、利用登録児童数は全体の定員200名に

対して1年生から6年生まで198名。その内、年間を通した利用登録者は153名。土曜日のみや夏休みなど長期休暇期間のみの利用が45名である。1つの児童クラブは定員を全て満たしており、もう1か所は若干空きがあるが、ほぼ埋まっている状況。

**質問** 空きがあることを知らない保護者も

いるのではないかと。広報紙などで情報を流せないか。

**答弁** 検討していく。

**質問** 各クラブの指導員の充足数について

はどちらも基準を満たしているとのことだったが、支援を必要とする子どもの数が増加している。専門的な対応のできる方に来てもらうことや、指導員の研修の場を設けるなどの考えは。

**答弁** 慢性的な人手不足は全国的な課題である。国の「放課後児童対策パッケージ2026」の中に、質の向上に資する研修の充実とい



学童も含めすべての子どもたちに安全な居場所を

う項目もあるので考えていきたい。

**質問** 今後、学童保育を希望する登録者数はどのように推移すると予想しているか。

**答弁** 町の小学生児童数は今後も減少を続けるが、一方、学童保育を年間通して希望する登録者は増加傾向にあり、11年度は190名を見込んでいる。今後の需要動向を見ながら、例えば専門の会計年度任用職員を採用してクラス数を増やしていくなど、検討していきたい。

## 孤独孤立対策

### 高齢者が孤立しない地域へ



鍋倉 竹志 (町長) 高齢者が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいく

**質問** 高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる環境づくりが重要である。高齢者独居世帯の困りごとや相談事例をどのように把握しているのか。また、地域との接点が少ない「隠れた孤立」への対応は。

**質問** 見守り活動を担う民生委員の負担や、高齢者の居場所づくりについてどのように考えているのか。

**答弁** 民生委員には地域福祉推進のため尽力いただいております。役割の多様化に伴い負担感が増していること認識している。今後関係機関と連携し活動しやすい環境づくりに努める。また、「いきいき教室」

**答弁** 80歳以上の単身高齢者世帯などを対象とした実態把握訪問や地域包括支援センターへの相談、民生委員による見守り活動を通じて生活状況の把握に努めている。移動手段や除雪など日常生活に関する相談が寄せられている。把握できていない孤立状態の方もいると認識しており、関係機関や地域住民からの情報を基に適切な

交流や健康づくり



「いきいき教室」で高齢者の交流を



## 電子マネーによる 交流人口の増大を



佐藤 利和  
(町長) 商工会との連携により  
地域経済活性化に取り組む

**質問** これまでのプレミアム付き商品券配布事業の成果をどのように評価しているか。

**答弁** この事業は、国の交付金を活用している。町の消費喚起や、物価高騰などの影響を受けている町民の方々に、大きな経済効果があつたと評価している。

品券の内容、販売時期、使用期間など、細かく要項を定めて行ってきた。

**質問** 商工会では取扱店へ意識調査を行っているか。また、内容について町とはどのような話し合いが行われているか。

**質問** 事業の実施にあたって、商工会とどのような議論をしてきたのか。

**答弁** 地域経済・地域活性化に資するため、毎年商工会の要望を受け、過去の実績を踏まえ積極的に取り組みを進めてきた。また、実施にあたっては、商

**答弁** 商品券の電子化について協議し、キャッシュレス決済導入のアンケート調査を行ってきた。その結果、初期費用や導入後の手数料負担を懸念し、思うように普及して来なかったことが分かった。商品券の買い求めやすさという利用側



多様化する支払い方法

の立場と商品券事業に参加する取扱店側との、双方の立場で考察すると、現時点では紙の商品券の方が受け入れやすいのではと話し合われている。

**質問** 交流人口を増やす観点から、従来の商品券事業に加え、電子マネーの導入を考えたかどうか。

**答弁** 今は、町民や事業者双方の受け入れやすさから、すぐの実施は考えていないが、気運の醸成を図りながら進めていく。

## 持続可能な 健康社会への取り組みは



神保 いく  
(町長) 町民の健康と安心のため、医療体制の維持・確保に努めて

**質問** 町内の疾病状況は。対策は。

**答弁** 令和6年3月策定の山辺町国保保健事業実施計画によると、特に糖尿病、脳血管疾患、脂質異常症、高血圧などの生活習慣病有病者の割合が、県平均より高い状況にある。

**答弁** 広報紙や地域イベント、SNSなどで健(検)診への理解と重要性を周知し、普及啓発や受診勧奨をさらに推進していく。

**質問** 予防への取り組みは。

**答弁** 早期発見・早期治療・重症化防止のために健康教室、相談を実施している。また、健診後の精密検査未受診者や治療中断者にも個別指導を行っている。

**質問** 特定健診の受診率が目標値に達していない。向上のための

**答弁** これまで5月の開催を、今後は4月も健康づくりができるよう検討していく。

**質問** 水中運動教室の再開計画は。

**答弁** コロナ感染拡大や温暖化などの影響により休止している状況。安全に再開するには空調設備などの改修が必要なことから、早



日常生活の運動習慣にも生かせる健康教室

期の開催が困難な状況である。保健福祉センターは開館以来22年が経過し、随所で経年劣化などで不具合が生じているため、年次的な計画のもと整備に取り組んでいく。

**質問** 町内の医療体制の見直しは。

**答弁** 生涯にわたり心身ともに健やかに暮らせるために、また疾病や介護予防、重症化防止に、関係医療機関と連携を図り、実情に応じた医療体制の確保に努めていく。

## 移動を巡る 安全管理について



鈴木 誠也  
(町長) 中学校の校外活動を行う際の安全確保に万全を期している

**質問** 令和8年5月に福島県を通る磐越自動車道で、新潟県の高校による部活動遠征中のバス事故があった。山形県は、県内の全高

校を対象とした連休中の部活動の実態調査結果を発表している。

しかし、児童・生徒や保護者、指導者は、他人事ではない不安を抱えているのではない。町内のスポーツ少年団、中学校部活動の移動を巡る安全管理体制は。

**答弁** 中学校部活動の移動手段は、保護者の送迎を原則としている。一部の部活動においては、教育委員会が所有するマイクロバスを使用することもあるが、運転にあたる町職

員による安全点検、運転前後のアルコール検査を義務付け、結果を書面に記録し保存している。

**質問** 事業者ではない白ナンバーのレンタカーやマイクロバスの使用、同乗引率者として教員または指導者が同乗しているか。

**答弁** 中学校部活動において、レンタカー等の外部事業者への依頼はない。教育委員会所有のマイクロバスを使用する際は、運転者が運転業務に専念できるように、教員または指導者が必ず同乗し、車内の生徒の安全管理や引率を行う体制を厳守している。

スポーツ少年団につ



安全運行が行われている町教育委員会のマイクロバス

いては、移動は保護者の送迎と聞いているが、学校管理下外のため、詳細は把握していない。

**質問** 今後、町として指導・確認をすべき事柄を示す考えは。

**答弁** 児童・生徒の安全確保を図るため、町のスポーツ・文化団体等へ引き続き適切な情報の提供・共有を図っていく。

## 防衛省に個人情報 提供しているか



日野 一春  
(町長) 関係法令に基づき情報提供を行っている

**質問** 防衛省の自衛官募集について2019年、安倍晋三首相の自

民党大会での発言で「自衛官募集に都道府県の6割以上が協力を拒否している。憲法にしっかりと自衛隊を明記する」とある。2021

年、地方自治体に防衛省と総務省連名の通知があり、自衛隊法の規程により市町村長に個人情報を求めることは、「住民基本台帳法上、特段の問題はない」とお墨付きを与えたことにより、情報を「提出」する自治体が初めて6割を超えている。

町は防衛省の要求にどのように対応しているか。

**答弁** 地方自治体は、自衛隊法の法定受託

事務として、自衛官募集事務の一部を行うこととされている。自衛官募集に係る情報提供は、自衛隊法の規定に基づき、防衛大臣や自衛隊山形地方協力本部より、紙媒体または電子媒体での提供依頼がある。個人情報の保護に関する法律に基づき、紙媒体または電子媒体での情報提供をしている。

**質問** 直近の提供者の数は年に何人か。

**答弁** 令和7年度は、18歳142人、22歳92人、計234人。

**質問** 提出から「閲覧」に戻した自治体は、複数出ている。防衛省は、個人情報提出の求



自衛官の入隊案内がダイレクトメールで送られる場合があります

めについて「求めに従わなかったことを理由として、不利益な取り扱いをしてはならない」とされている。強制するものではない」と回答している。要は「閲覧」か「提出」かは、自治体の判断に任されている。現在、全国4割の自治体が「閲覧」にしている。個人情報提供を防衛省に提供される町民の不安を察して、データの提供をやめて「閲覧」に戻していただきたいがいかがか。

**答弁** ささまざまな考え方があると承知しているが、これまで情報提供をしており、今後関係法令に基づき適切に対応していく。



# 新しい町への挑戦

町の財産を生かし、  
うるおうまちづくり

## 主な活動（令和8年4月～6月）

|                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| 6月定例会（6/10～6/12）               | 全員協議会（4/30、5/25、6/12）     |
| 議会運営委員会（4/9、5/19、6/3）          | 議会活性化特別委員会（4/30、6/4、6/12） |
| 総務文教常任委員会（5/18）                | 村山監査協議会研修会（5/21）          |
| 厚生産業常任委員会（4/30、5/19、6/10）      | 例月出納検査（4/20、5/20、6/22）    |
| 広報常任委員会（4/2、4/7、4/23、6/3、6/24） |                           |

### 春季消防演習



### 町民プール改築工事起工式



### さまざまなイベントにも 参加しています

### 山辺小運動会



### 排水ポンプ車安全祈願祭



### 春の交通安全立哨



## 故郷やまのべに熱い期待

東京山辺会総会が、6月28日東京都府中市内のホテルで開催され、町から安達町長と村山幸一議員が出席しました。総会の冒頭、東京山辺会の稲村三夫会長が、わが故郷やまのべが大きく発展していく姿に思いを馳せ、参加者に、「大いに盛り上げていこう」とあいさつされました。東京からの熱い期待に応えられるよう、町とともに選ばれるまちづくりを進めていくことをお伝えしました。なお、役員改選では、新たに菅原忠男氏が会長に選出され、長年、会長職を担っていた稲村会長に、会員から感謝の気持ちが伝えられました。

懇親会場には、お土産として届けた山辺産サク

ランボに舌鼓を打ち、「毎年、総会に来るのが楽しみ」と粒の大きさとおいしさに感嘆の声が上がっていました。また山辺町美力発信アンバサダーの青山ひかるさんの歌謡ショーやカラオケなどで、山辺を愛する人の交流の絆がさらに深まりました。



ふるさとに思いを馳せて



サクランボに舌鼓

私たち議員は本会議場や会議室などで協議をすることがとても多いです。でも時には外へ飛び出して行政視察や外部での研修を行ったり、各団体や地域の皆さんと交流を図ったりしています。令和8年4月から6月の議会活動・議員活動の一部を紹介します。ぜひご覧ください。

## 福祉の向上と地域活性化のために

厚生産業常任委員会では、4月30日に、保健福祉センターおよび山辺温泉保養センターの現地視察を実施し、施設の管理運営状況について調査を行いました。

保健福祉センターでは、町民の健康づくりや介護予防を推進する拠点として各種事業が実施されています。今後は、健康寿命の延伸を目指し、幅広い世代が参加しやすい事業の充実や利用促進に向けた取り組みが重要であると感じました。

また、山辺温泉保養センターでは、令和8年度に予定される内装レイアウト工事について説明を受けました。改装内容や事業効果、施設の魅力向上策などについて確認を行い、さらなる利便性の向上を図るとともに、利用者増加や収益改善につながる具体的な取り組みも必要であるとの認識を共有しました。

両施設が町民福祉の向上と地域活性化に寄与する施設として、将来にわたり持続可能な運営が図られるよう、引き続き調査・検証を行ってまいります。



更新された運動器具（保健福祉センター）

## なり手不足解消に向けて

昨年12月に設置された議会活性化特別委員会では、議員のなり手不足という課題に向き合い、原因や背景を深く取り組みを進めています。

この課題を解決するためには、まず、町民の皆さんがどのように感じているのかを知る必要があります。と考へ、4月に無作為抽出による町民アンケート調査を行いました。議会への関心の度合いや、立候補に対する考え方など、年代や男女の別なくさまざまな回答をいただきました。いただいた回

答については、現在、集計・分析を進めているところです。それらを基に、対応策などを検討し、議会に求められている役割について考へ、議会活性化に取り組んでいきます。



議員全員でアンケート集計中

## 議会交流 山辺町へようこそ！

日立市議会から、吉田修一議長をはじめ総勢14名の方々が、6月23日に町を訪問しました。はじめに役場庁舎で本会議場などを見学。次にオリエンタルカーペット株式会社の工場を訪れ、会社のものづくりに対するこだわりなどにふれたほか、サクランボ狩り体験やふるさと資料館の見学など、山辺町を満喫してもらいました。今後とも友好都市日立市と、益々の交流が深まることを願っています。



カーペットの手ざわりを確認

宮城県大衡村議会の方々が、7月1日に山辺町へ議員行政視察に来町しました。研修では、議会活性化などについて活発な情報交換を行ったほか、ふるさと資料館の見学も行いました。

大衡村と山辺町は、昨年12月に「災害時における相互応援に関する協定」を結んでいます。今後は、平時における交流もさらに広がっていくことを期待しています。



議長および議会運営委員会委員6名が来庁しました